

今後の県立障害者支援施設のあり方について

令和 5 年 12 月に策定した「県立障害者支援施設の方向性ビジョン」

(以下「ビジョン」という。)の中で示した各県立障害者支援施設

(以下「県立施設」という。)の方向性について、現在の取組状況を

報告する。

(ビジョンでの県立施設の方向性に関する整理)

<p>県立施設として継続</p> <p>地方独立行政法人による運営に移行する</p>	<p>中井やまゆり園 (※)</p>
<p>民間法人へ移譲</p> <p>移譲に向けて、利用者や家族、現指定管理者（指定管理施設のみ）の意向も踏まえながら、移譲の時期、相手先や条件の検討を進め、調整がついた施設から順次、移譲していく。</p>	<p>さがみ緑風園 厚木精華園 三浦しらとり園</p>
<p>引き続き方向性を検討</p> <p>指定管理や施設の再整備の状況を踏まえて、引き続き検討していく。</p>	<p>芹が谷やまゆり園 津久井やまゆり園 愛名やまゆり園</p>

※中井やまゆり園は、令和 8 年 4 月の地方独立行政法人化に向けて、

準備中。（詳細は、「新たな地方独立行政法人の設立について」で

別途報告）

(1) 民間法人への移譲を検討する施設

ア さがみ^{りよくふうえん}緑風園

(ア) 現^{げんじょう}状

- 平成^{へいせい}14年^{ねん}の開^{かい}設^{せつ}時^じは定^{てい}員^{いん}160名^{めい}の大^{だい}規^き模^ぼ施^し設^{せつ}であ^だった^が、入^{にゅう}所^{しょ}者^{しゃ}の減^{げん}少^{しょう}が^{つづ}続^づき、現^{げん}在^{ざい}の入^{にゅう}所^{しょ}者^{しゃ}数^{すう}は29名^{めい}（定^{てい}員^{いん}40名^{めい}）である。
- このため、2階^{かいだ}建^たての^た建^た物^{もの}の^{きょ}うち^{じゅう}居^{きょ}住^{じゅう}フ^{しやう}ロ^{しやう}ア^{しやう}として使用^しして^{よう}い^るのは、2階^{かい}の^{いち}一^ぶ部^ぶだ^けと^なっ^てい^る。
- 最^{さい}重^{じゅう}度^どの身^{しん}体^{たい}障^{しょう}害^{がい}者^{しゃ}用^{よう}の施^し設^{せつ}と^{して}、民^{みん}間^{かん}施^し設^{せつ}に^{くら}比^ひべ^て広^{ひろ}く、ゆ^もと^りを^も持^もった^たつ^たく^くり^りの^た建^た物^{もの}で^いあ^り、^い維^じ持^ち・^{かん}管^り理^ひ費^ひが^かか^かる。

(イ) 検^{けん}討^{とう}状^{じょう}況^{きやう}

- 建^た物^{もの}の^し使^し用^{よう}して^いな^いい^ない^な部^ぶ分^{ぶん}（建^た物^{もの}1階^{かい}部^ぶ分^{ぶん}と2階^{かい}の^{いち}一^ぶ部^ぶ）の^{かつ}活^{くわつ}用^{よう}に^む向^むけ^て、地^ち域^{いき}の^ふ福^ふ祉^し的^{てき}ニ^はー^あズ^くを^{かん}把^は握^{あく}す^るた^め、^{かん}関^け係^い機^き関^{かん}に^おこ^なな^なヒ^とア^とリ^とン^とグ^とを^とく^{べつ}べ^つつ^{よう}ご^ろう^{じん}ジ^んホ^とム^と等^との^{だい}大^き規^ぼ模^なな^し施^し設^{せつ}利^り用^{よう}の^{げん}ニ^んー^{てん}ズ^は、^{かく}現^{げん}時^じ点^{てん}で^{ない}こ^とを^{かく}確^{かく}認^{にん}した。

(ウ) 今^{こん}後^ごの^{たい}対^{たい}応^{おう}

- 移^い譲^{じやう}に^む向^むけ、建^た物^{もの}の^{こん}今^ご後^ごの^い維^じ持^ち・^{かん}管^り理^ひコ^{せい}ス^りト^を整^{せい}理^りす^るな^ど、^い移^い譲^{じやう}条^{じやう}件^{けん}等^{とう}を^{せい}整^{せい}理^りす^る。
- 移^い譲^{じやう}ま^あい^だでの^し間^{かん}は、^し施^し設^{せつ}を^{ゆう}有^{ゆう}効^{こう}に^{かつ}活^{かつ}用^{よう}す^べく、^ひ引^ひき^{つづ}続^{つづ}き^{けん}検^{けん}討^{とう}を^い行^いう。

イ ^{あつぎせいけえん} 厚木精華園

(ア) ^{げんじょう} 現状

- ・ ^{しがいち} 市街地から ^{はな} 離れた ^{りっち} 立地であり、^{えんがい} 園外での ^{にっちゅうかつどう} 日中活動の ^{きかい} 機会や ^{ちいき} 地域との ^{こうりゅう} 交流の ^ば 場が ^{すく} 少ない ^{じょうきょう} 状況である。また、^{こうれい} 高齢の ^{ちてき} 知的 ^{しょうがいしゃしえん} 障害者支援の ^{しせつ} モデル施設であったことから ^{こうれいしゃ} 高齢者が ^{おお} 多く、^{ちいき} 地域 ^{せいかついかう} 生活移行が ^{すす} 進んでいない。
- ・ ^{りんせつち} 隣接地は ^{どしやさいがいとくべつけいかいくいき} 土砂災害特別警戒区域に ^{してい} 指定されている。
- ・ ^{たても} 建物は ^{ちく} 築 ^{ねん} 30年が ^{けいか} 経過し、^{ていいん} 定員 ^{めい} 112名の ^{だいきぼしせつ} 大規模施設で、^{にんべや} 2人部屋 ^{ちゅうしん} が ^{たしょうしつ} 中心の多床室となっている。
- ・ ^{れいわ} 令和7年4月から ^{ねん} 県職員を ^{がつ} 派遣し、^{けんしよくいん} 介護保険サービスへの ^{はけん} 移行へ ^{かいごほけん} 向け、^{いこう} ノウハウなどを ^む 伝えるなど、^{つた} 実践的な ^{じっせんでき} 取組を ^{とりくみ} 行っ ^{おこな} ている。
- ・ ^{みんかんいじょう} 民間移譲に向けた ^む 検討に ^{けんとう} 時間を ^{じかん} 要することから、^{よう} 指定管理を ^{してい} している ^{かんり} ことから、^{れいわ} 令和9年度まで ^{ねんど} 延長 ^{えんちょう} した。

(イ) ^{けんとうじょうきょう} 検討状況

- ・ ^{みんかんいじょう} 民間移譲にあたって、この ^{ちいき} 地域での ^{じぎょうてんかい} 事業展開を検討するため、^{きんりん} 近隣で ^{しょうがいふくし} 障害福祉サービス ^{じぎょうしょ} 事業所を ^{うんえい} 運営する ^{ふくすう} 複数の ^{みんかんほうじん} 民間法人から、^{げんざい} 現在の ^{うんえいじょうきょう} 運営状況、^{かだいとう} 課題等の ^{おこな} ヒアリングを ^{りようしゃ} 行い、^{ちいき} 利用者の地域

せいかついかう む かだい かか ほうじん かくにん
生活移行に向け、課題を抱える法人があることを確認した。

- いじょう せいあん
移譲にあたっては、移譲希望の法人から実効性ある計画の提案

つの せんてい こうぼ ほうこう けんとう
を募り、選定にあたっては、公募の方向で検討していく。

(ウ) こんご たいおう 今後の対応

ひ つづ みんかんほうじんと いくんこうかん かせ いじょうほうしんと
引き続き、民間法人等と意見交換を重ねながら、移譲方針等を

けんとう
検討する。

ウ みうら えん 三浦しらとり園

(ア) げんじょう 現状

- ちてきしょうがいじ ちてきしょうがいしゃ ふくごうしせつ
知的障害児と知的障害者の複合施設である。

- たてもの ちく ねん けいか じしゃ ていいん めい だいきぼしせつ
建物は築42年が経過し、児者あわせて定員152名の大規模施設

たしょうしつ ちゅうしん ろうきゅうか すす
で、多床室が中心となっており、老朽化が進んでいることから、

さいせいび ひつよう
再整備が必要となっている。

(イ) けんとうじょうきょう 検討状況

- していかんりしゃ にゅうしょしゃ ちいきせいかついかう すす ていいん き ぽ
指定管理者は、入所者の地域生活移行を進め、定員規模の

しゅくしょう けんとう おこな
縮小などの検討を行っている。

- けん いじょう む していかんりしゃ ふくすう しゃかいふくしほうじん
県では、移譲に向けて、指定管理者や複数の社会福祉法人に、

じゅうどしょうがいしゃ ちいき と こ く じつげん
重度障害者が地域に溶け込んだ暮らしを実現できるような

しょうきぼ しせつ うんえい ちいきせいかつ きよてん ひつよう やくわり
小規模な施設の運営や、地域生活の拠点としての必要な役割につ

いて、ヒアリングをおこなっている。

(ウ) 今後の対応

していかんりしゃ た ほうじん いけん き くに ほうしゅう
指定管理者や他の法人の意見を聞きながら、国の報酬でどのよ

うな効果的な運営ができるか検討するとともに、必要に応じて、県

による財政的支援を検討していく。

(2) ひ つづ ほうこうせい けんとう しせつ
引き続き方向性を検討する施設

ア せり や えんおよ つ く い えん
芹が谷やまゆり園及び津久井やまゆり園

(ア) げんじょう
現状

- りょうえん たてもの しょうきぼ しせつ せいび
・ 両園ともに建物は小規模ユニット施設として整備されてい
る。
- えんがい にっちゅうかつどう きよてん せっち また せっち けいかく
・ 園外に日中活動の拠点を設置し、又は設置する計画があるな
ど、せっきよくてき ちいきせいかついこう と く
積極的に地域生活移行に取り組んでいる。
- りょうえん していきかん れいわ ねんど おそ
・ 両園とも指定期間が令和9年度までであるため、遅くとも
れいわ ねんちゅう ほうこうせい しめ ひつよう
令和8年中には方向性を示す必要がある。

(イ) けんとうじょうきょう
検討状況

ほうこうせい けんとう かくえん とくちょう げんじょう はあく
方向性の検討にあたって、各園の特徴や現状を把握するために、

りょうしせつ ほうもん にっちゅうかつどう ちいきだんたい れんけい しゅうへんちいき
両施設を訪問して、日中活動、地域団体との連携、周辺地域の

しげんとう しさつ とう おこな
資源等について、視察やヒアリング等を行っている。

(ウ) りょうえん とりくみ
両園の取組

a せり や えん
芹が谷やまゆり園

- れいわ ねん がつ ちいき かつどう そくしん きよてん
令和6年3月に、地域での活動を促進する拠点とするため、

えん きんりん じゅう じぎょうしょ ていいん めい せっち ちいきせいそう
園の近隣に従たる事業所（定員16名）を設置し、地域清掃に

さんか にっちゅうかつどう きかい ふ とりくみ おこな
参加するなど、日中活動の機会を増やす取組を行っている。

- けんがく じっしゅうおよ たいけん つう ちいきせいかつ
グループホームの見学、実習及び体験を通じて地域生活

いこう すいしん
移行を推進している。

b つく い えん
津久井やまゆり園

- い し けつていし えん たんとうしゃかいぎ ほんにん のぞ せいかつ
意思決定支援の担当者会議において、本人の望む生活ができ

とう かくにん おこな りようしゃみずか い し はんえい
ているか等の確認を行い、利用者自らの意思が反映された

せいかつ じつげん りようしゃ いけん えん うんえい はんえい
生活の実現と、利用者からの意見を園の運営に反映させている。

- ちく しゃかいふくしきょうぎかい しえんがっこうとう きょうりょく ちいき
地区の社会福祉協議会や支援学校等との協力、地域イベン

さんかとう ちいき ふか ざいたくしょうがいしゃ
トへの参加等、地域とのつながりが深く、また、在宅障害者

とう せいかつかいご うけい おこな ちいき しょうがいしゃ ささ
等の生活介護の受入れを行うなど、地域の障害者を支える

しゃかいしげん
社会資源となっている。

(エ) こんご たいおう
今後の対応

とうじしゃめせん しえん じっせん つうかがたしせつ ちいきせいかついこう とりくみ
当事者目線の支援の実践や通過型施設として地域生活移行の取組

とう してい かんり じょうきょう けんしょう ほうこうせい けんとう
等、指定管理の状況を検証しながら方向性を検討していく。

イ あいな えん 愛名やまゆり園

(ア) げんじょう 現状

- けんぜんいき しょうがいふくし じぎょうじょ
・ 県全域からアクセスがしやすく、障害福祉サービス事業所を
ちいきしげん ほうふ けんおうちいき りっち
はじめ、地域資源が豊富な県央地域に立地している。
- たてもの ちく ねん けいか ていいん めい だいきぼしせつ にんべや
・ 建物は築39年が経過し、定員120名の大規模施設で、4人部屋
ちゅうしん たしょうしつ ろうきゅうか すす
が中心の多床室となっており、老朽化が進んでいる。
- しょうらいてき りようしゃ かたがた ちいき とこ く
・ 将来的に、利用者の方々が地域に溶け込んで暮らせるように
さためには、どのようなあり方がふさわしいか、けんとう すす
検討を進めている。
- れいわ ねん がつ けんしよくいん はけん いし けつていしえん すいしん
・ 令和7年4月から県職員を派遣し、意思決定支援の推進や
しせつりようしゃ せいかつしえん にっちゅうかつどう しえん おこな
施設利用者の生活支援、日中活動の支援を行っている。

(イ) けんとうじょうきょう 検討状況

- しょうらいてき めざ ちいき とこ く
・ 将来的に目指す「地域に溶け込んだ暮らし」のイメージや
さいせいび りようしゃ ごかぞく かんけいだんたいとう いけんこうかん おこな
再整備について、利用者、御家族、関係団体等と意見交換を行った。
- かながわ きょうどうかい だいさんしゃいいんかい れいわ ねん がつ こうひょう
・ かながわ共同会は、第三者委員会が令和6年10月に公表した、

「愛名やまゆり園虐待事案に関する第三者委員会中間報告書」

を受け、令和7年1月「かながわ共同会法人改革・愛名改善等

実行プラン」を策定し、抜本的な法人改革及び園の改善等に取り

組んでいる。

- ・ 県は、「かながわ共同会法人改革・愛名改善等実行プラン」

との整合性を図りながら、「「愛名やまゆり園虐待事案に関する

第三者委員会中間報告書」 による県への指摘に係る検証

結果報告書」を令和7年3月に取りまとめた。

- ・ 指定管理を令和9年度まで延長したが、令和10年度以降の

運営方針を示す必要がある。

- ・ 県立施設として存続し、中井やまゆり園とともに、地方独立

行政法人が一体的に運営することを視野に入れて検討を進める。

(ウ) 今後の対応

再整備や地方独立行政法人による運営を視野に入れ、引き続き、

以下の検討を行う。

- ・ 地域に溶け込んだ暮らしの検討
- ・ 地域生活移行の推進
- ・ 組織執行体制の検討

さんこう けんりつし せつ がいよう
(参考：県立施設の概要)

施設名 (所在地)	管理方法 指定管理者 指定期間	主な 対象	定員	築年数 (部屋)
中井やまゆり園 (中井町)	直営	知的	140人	築25年 (個室・多床室)
さがみ緑風園 (相模原市南区)	直営	身体	40人	築22年 (個室中心)
芹が谷やまゆり園 (横浜市港南区)	指定管理 同愛会・白根学園 令和5年4月から 令和10年3月まで	知的	66人	築3年 (個室)
津久井やまゆり園 (相模原市緑区)	指定管理 かながわ共同会 令和5年4月から 令和10年3月まで	知的	66人	築3年 (個室)
愛名やまゆり園 (厚木市)	指定管理 かながわ共同会 平成28年4月から 令和10年3月まで	知的	120人	築39年 (多床室中心)
厚木精華園 (厚木市)	指定管理 かながわ共同会 平成28年4月から 令和10年3月まで	知的	112人	築30年 (多床室中心)
三浦しらとり園 (横須賀市)	指定管理 清和会 令和5年4月から 令和10年3月まで	知的 (児・ 者)	40人 112人	築42年 (多床室中心)